

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [岡山市立岡山後楽館中学校] 担当教諭名 [石原 公子] (全校生徒 231名)
 相手国・地域 [ブルガリア]
 海外学校名 [18th School "William Gladstone"] 担当教諭名 [Plamena Ilcheva]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	SDGs講演会	2
	国際理解部	部活動(テレビ会議、メッセージ作成)	12
	美術部	部活動(デザイン考案、下絵)	10
	美術	色付け	12

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	これからも守っていききたい故郷の宝物
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	お互いのまちの文化・自然・伝統をこれからも大切にしていきたい。そのためには、それぞれのまちの良さや課題となっていることをまず知ること。環境を大切に、ごみ、廃棄物の問題など、一人一人ができることに取り組んでいくことで、より住みよいまちにしていきたい。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
まず、SDGsとは何か、というところから学習した。ほぼ知らなかった生徒たちに、外部講師を招いて説明してもらった。一人一人が気になったSDGsについて意識をし、本校で一年間かけて毎年取り組んでいる総合的な学習の時間で作成するレポート、発表とSDGsの項目を関連付けて作成、準備することになった。今回のテーマであるNo.11「住み続けられるまちづくりを」について深く考え、レポート作成、発表をした生徒もいた。	学校全体で取り組んだことで、左記のような成果が得られたが、絵の作成については分担がなされていたため、国際理解部、美術部は深く関わったが、その他の生徒は一人一人の意識が少し薄らいってしまった傾向にあるようである。少人数のグループ、部活動に限定して、集中的に取り組めなかったことが課題である。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
本校は第18総合学校との交流が3年目となる今年度アートマイルに取り組んだ。これまでは、単純に異文化交流でとどまっていたが、ブルガリア・ソフィア市のよいところのみならず、問題点も知ることができた。日本でも問題となっていることは、ブルガリアでも共通の課題であることを理解した。環境をよくしていくためには、一人一人の行動が必要不可欠であり、世界全体で取り組むべきだということを学んだ。	生徒と同様、課題を共有できたところは学ぶところが多かった。これまでは単に、自己紹介、お互いの好きなものを教えあう程度にとどまっていたが、より深く理解していきたいという気持ちになった。今回はSDGsの No.11 が共通のテーマであったが、今後さらにまた違った協働学習のテーマを設定してテレビ会議等行いたいと思っている。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	5月 ～ 7月	前年度に引き続き、スカイプで自己紹介を行った。簡単な英語、ブルガリア語を使って、名前や好きなこと、好きな場所などを紹介しあった。	楽しく交流していた。学年が様々だったので、1年生にとっては非常に緊張したようだったが、次回のスカイプに向けての目標ができたようだ。	生徒会 執行部・ 国際理解部
共有 テーマ学習	5月 ～ 10月	外部講師を招いてSDGsについて学習した。自分のまちに対する意識調査をアンケート形式で行い、集約したものを発表した。岡山市のよいところ、問題点などを考え、何を絵として残したいかについてもアンケートをとった。	SDGsについてあまり知らなかった生徒が、SDGsを学習し、総合的な学習の時間に作成するレポートに関連づけを行ったことで、難しさを感じながらも意識が高くなったようである。また、岡山市について改めて考えることで、問題点はあるものの、良さを再認識したようである。	全校生徒
融合 メッセージ作成	11月 12月	岡山市のよいところ、問題点を小グループで話し合い、ポスターにしてまとめた。ポスターには、世界に発信したいメッセージを書いて、のちに壁画と一緒に同封して相手校に送った。	この期間に第2回目、3回目のスカイプを行った。第1回目のスカイプと比べて慣れたようでリラックスし、とてもよい雰囲気で行えた。次回のスカイプに向けて、さらに目標を持つことができていた。生徒の方から「次はこんなことを話し合いたい」などの提案がなされるようになった。	国際理解部
創造 壁画制作	11月 12月	美術の授業の中で、美術教員の指導のもと、一人一筆ずつ色をぬっていった。クラス単位で行ったので、計画的に作成できた。	一筆ずついねいに色をつけていった。どんどんできあがるさまに完成の期待が高まっていった。全校集会で、生徒会執行部が本校の完成部分を披露した。	全校生徒
評価 振り返り 自己評価	2月	郵送トラブルにより、相手校の壁画作成時間、振り返り時間が短くなったが、本校でも時間が十分とれず、また急な新型コロナ対策により、予定していた振り返り、発表会ができなかった。	短時間であるが、一部の生徒で壁画の鑑賞と写真撮影を行った。じっくりと時間をとって鑑賞できなくて残念だった。	生徒会 執行部・ 美術部・ 国際理解部 の一部生徒

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	岡山市のよいところ、問題点について理解できた。
異文化を理解する力	3	ブルガリアのよいところ、問題点について理解しようとした。英語での説明がやや難しかったようで支援が必要であった。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	3	ブルガリア、ソフィア市について調べた。また、岡山市について調べたことを集約して、一人一人がスカイプで発表した。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	簡単な英語、ブルガリア語を使いながら、教師の支援のもと、スカイプでコミュニケーションをすることができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	客観的にそれぞれのまちのよいところ、問題点などを比較したり深く論理的に考えたりすることが若干難しかった。
主体的に考え行動する力	4	スカイプで、自分たちのやりとりを振り返り、主体的に次回どうやっていけばよいかを考えることができていた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	部活動内では学年にへだたりなく、協働学習、イラストの作成などに取り組むことができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	自分たちの思いをポスターにした。壁画は全校生徒のアイデアを美術部が中心となり形にし、全員が参加した。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	-	休校措置等により評価不能